

1 研究主題

「豊かな心をもち よりよく生きようとする子どもを育てる」  
 - かかわりあう活動を通して -

2 研究の概要



3 心に響く道徳の授業「ベスト3」

「食育」と道徳

チームティーチングを生かした道徳

モラルジレンマ的道徳

【低学年 2年生の実践】  
 主題名  
 「生命の大切さを」3-(2) ねらい  
 「生きることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。」  
 資料名  
 「せかいのどこかで」(日本標準)  
 授業の概要  
 栄養士の先生をT3として招き、「食べること」「生命」の大切さについて学びます。  
 おすすめのわけ  
 現在、知育・徳育・体育とあわせて「食育」への取り組みが大変重視されています。「食育」の考えをどのように道徳の時間に生かしていったかについて紹介します。



【中学年 4年生の実践】  
 主題名  
 「自分に誠実な心を」1-(5) ねらい  
 「自分自身をごまかすことなく、約束を守ろうとする態度を育てる。」  
 資料名  
 「やくそくの本」(東京書籍)  
 授業の概要  
 小グループに分かれて話し合うことにより、約束を守る気持ちよさに気づき、価値を高めていきます。  
 おすすめのわけ  
 T1とT2がそれぞれの立場に分かれ小グループでの話し合いを支援していきます。話し合いの中で、意見を出しにくい児童の考えを事前につかみ意図的指名に生かします。



【高学年 6年生の実践】  
 主題名  
 「役割と責任の自覚」4-(1) ねらい  
 「責任ある行動をとろうとする態度を育てる。」  
 資料名  
 「時計係」(明治図書 一部改作)  
 授業の概要  
 役割と責任、友情の二つの価値について話し合う中でねらいとする価値に近づいていきます。  
 おすすめのわけ  
 モラルジレンマ的な道徳の時間を行う中で、6年生が本音で語り合いながらねらいとする価値「役割と責任」に近づき高めていきます。

